

No.	地区	項目	意見要約	市長回答（N08以降は所管課回答）	所管課	所管課補足
1	奄情	奄美市長へのご質問	市長になろうと思ったきっかけ、市長になって変えることができたこと、今後変えていきたいと思うことを教えてほしい。	社会人2年目、24歳の頃に経営コンサルティングのサラリーマンをしており、将来の自分を考えたときに、故郷奄美に帰って、奄美のために仕事をしたいと考えたところです。大学時代は法律を学んでいたことから、政治において法律が役に立つのではと考え、かつ政治家になるとすれば、市長の立場で政策を実現させたいと思い、目指したところでございます。奄美市をどう変えたいか、良くしたいのかですが、民間の活力を引き出し、官民連携（共創）により実証実験などを行い、もっと経済力を上げることで、稼ぐ地域を目指して、様々な施策により取り組んでいるところです。まだまだ足りない部分はあると思いますが、頑張って参りたいと思います。		
2	奄情	賃借人死亡時の残置物処理について	祖父母が賃貸住宅を所有し、生活保護の方が居住していた。居住されていた方が亡くなり、葬祭については、保護課で対応してもらったが、居住されていた部屋の家財道具の処分などについては、生活保護では対応できなかった。今後もこういったケースは起こり得ると思うが、何かしらの補助制度などが必要ではないか。	（市長） 地域の課題について福祉部門等と連携し、何か手立てがないか、模索して参りたいと思います。 （市民協働推進室長） 住宅確保が必要な要配慮者の対応について検討する「居住支援協議会」において検討していければと思います。	プロジェクト推進課 福祉政策課	（プロジェクト推進課） 居住支援協議会は住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に円滑に入居できるよう推進する組織です。残置物処理については、保証人や相続人が責任をもって処分するものと認識していますが、現状高齢者入居時の大家の不安材料として課題となっております。 居住支援法人の役割が拡大され、令和6年度より入居者からの委託に基づく残置物処理が追加しましたことから、居住支援法人の必要性について周知を図ってまいります。 （福祉政策課） 家財道具などの残置物処理については「居住支援協議会」において検討していければと思います。
3	奄情	大島紬について	祖母が60年間大島紬の織子をしていて、自分にとって身近であった。大島紬の価値を上げるために、今後どのような対策をとっていくのか。織子や職人の賃金アップなど処遇の向上について具体的な対策は。	奄美の宝である大島紬を守っていきたいと考えております。ネックになっているのが、後継者不足、職人不足であり、生産自体が危うくなっていると聞いております。奄美市と龍郷町で協力して、職人が少ない部門（図案・加工など）で、職人を雇用した際に助成金を各織元へ支給しております。織子さんの処遇向上については、各織元で努力していただきたいと思います。織子さんが技術を習う学校などもありますが、小学校・中学校くらいから大島紬を身近に感じる教育についても検討して参りたいと思います。	紬観光課	織工を含めた職人の賃金処遇改善については、以前からの課題であると認識しており、第2期本場奄美大島紬産地再生計画においても再生計画の1つとして位置付けております。行政としては、業界を側面から支援をしており、今後、再生計画実行委員会の流通改革部門にて検討していくものだと考えております。
4	奄情	若者が遊べる娯楽施設について	若者が遊べる娯楽施設がほしい。今後の予定などあれば教えてほしい。	マリントウンについては、本土の企業も含めて公募を行いました。ラウンドワンなどの娯楽施設からの応募はなかったところです。近々、大浜海浜公園において、若い人が中心になって、野外でナイトシネマイベントを行う予定があると聞いております。必ずしも「施設」や「ハコ」にこだわらなくてもできることはあると考えており、10代、20代の方が遊べる場所や機会をつくることを後押しする制度を来年度作って参りたいと思います。ぜひ、一緒に考えていければと考えておりますので、よろしくお願い致します。	財政課	補足なし
5	奄情	マリントウンについて	マリントウンの緑地公園にスケートボードパークや、バスケットコート、遊具などを設置することができないか。	（市長） バスケットのゴールを、民間団体（ロータリークラブ、ライオンズクラブ）が公園に設置していただいたこともありますので、検討いただければと思います。 （副市長） マリントウンの緑地公園については、大島支庁が管理しており、災害などの際に避難場所として考えており、また、多くの方が集まって楽しめるように、あえて工作物を設置していないところです。	財政課	補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答（N08以降は所管課回答）	所管課	所管課補足
6	奄情	観光客が利用しやすいIT環境整備について	観光客が旅先で困ったランキングの中で、電子決済や電子マネーが使えないなどの課題が上がっており、奄美市も同様だと思うが、奄美市として決済手段や通信環境のIT部門について、観光客が利用しやすい観光地にする計画や考えていることを教えてほしい。	電子決済については、コロナ禍以前から民間企業へ補助金・助成金を準備して、導入に取り組んでいるところであり、一時期よりは普及が図られていると思いますが、観光客の方が利用しやすい観光地となるよう、今後とも取り組んで参りたいと思います。フリーwifiについては、奄美市の主要な観光地、公共施設などで利用できるようにしており、クルーズ船が入港した際には、移動式のwifiを商店街などに持っていくなどを行っておりますが、地域全体で普及させていくことが今後の課題と感じております。なお、wifiに関しても市から民間企業へ補助・助成を行っているところです。	デジタル戦略課	電子決済システムについては国・県においてもへの補助がありますが、デジタル戦略課においても電子決済やWifi設置について、内容によっては費用の一部を助成の対象としていますので、事業所にも利用を呼びかけたいと思います。（ICT事業拡大支援補助金）
7	奄情	飲酒運転について	早朝・深夜に蛇行している車両など、飲酒運転が疑われる車が走行している。飲酒運転撲滅に向けた普及・啓発や、警察と連携した取組みの強化をお願いしたい。	全国で悲惨な事故が起っておりますので、警察や社交飲食業組合などと連携して、飲酒運転の撲滅に向けて、今後とも取り組んで参りたいと思います。また、コロナ禍の際に支援させていただきましたが、飲酒した際に飲酒運転にならないよう、タクシー会社や代行運転事業者への支援も併せて考えて参りたいと思います。	総務課 商工政策課	（総務課）（商工政策課）補足なし
8	奄情	リモートワークスペースについて	リモートワークができる場所を増やせないか。商店街などにスペースをつくる予定がないか。	リモートワークができる場所としては、奄美市が提供しているICTプラザかさりやWorkStyleLabo以外にも、民間事業者が提供しているコワーキングスペースがありますので、今後周知を図ります。また、奄美ならではの観光地や宿泊施設等もリモートワークには最適であるため、作業場所として利用できないか呼びかける予定です。なお、商店街については家賃や管理費の面もあるため、現在営業している店舗に呼びかけるなど、場所の拡大について検討してまいります。	デジタル戦略課	
9	奄情	特産品・食べ物のPRについて	奄美の魅力を発信する場所をつくることができないか。特に食べ物や特産品を発信する場所が必要ではないか。	食べ物や特産品の情報発信につきましては、あまみ大島観光物産連盟HPや奄美群島観光物産協会HPなどで紹介しております。その他にも、観光パンフレットや奄美市やその他町村のふるさと納税パンフレットでも紹介しております。引き続き関係者とも連携しながら情報発信に努めてまいります。	紬観光課	
10	奄情	生活保護について	保護受給者が受け取る受給額を増やすことができないか。	生活保護における最低生活基準につきましては、国民の「健康で文化的な生活」を維持するため、生活保護を受けていない低所得世帯の消費の実態とバランスが取れているか国において5年に一度検証の行い、地域ごとに最低生活費の基準額が定められております。そのため各地域での自治体において基準額の増額などは出来ないこととなっています。	保護課	
11	奄情	自動販売機の電子決済について	ランニングをする際に、現金を持ち歩くことが煩わしいので、自動販売機で電子決済ができる機器を増やすよう、補助や助成ができないか。	（デジタル戦略課） 自動販売機設置についてはデジタル戦略課からの補助はありませんが、電子決済を導入するにあたり、システム利用料などがある場合は、その一部が助成の対象となる場合があります。自動販売機設置業者にも、内容を周知したいと思います。 （商工政策課）補足なし	デジタル戦略課 商工政策課	
12	奄情	大島紬の広報について	世界三大織物に数えられる大島紬をもっとPRすることができないか。ブランディングも必要ではないか。	奄美市、龍郷町、両組合で出資し、本場奄美大島紬産地再生協議会を立ち上げ、生産流通活性化事業を実施し、各種PR、販売会等を行っているところです。またR6年度はパリコレ出展者への紬の提供等も行っております。ここ数年各種イベントで大島紬を利用したいとの声も頂いておりますので、両組合と協力しながらPRに務めて参りたいと思います。	紬観光課	
13	奄情	通学補助について	他町村から通う生徒には通学補助があるようだが、奄美市でも遠方から通う生徒に通学補助を実施してほしい。	奄美情報処理専門学校への補助につきましては、以前からご要望をいただいております。補助を行うとしたらどのような形が望ましいか、学校とも相談しながら引き続き検討してまいります。	デジタル戦略課	

No.	地区	項目	意見要約	市長回答（N08以降は所管課回答）	所管課	所管課補足
14	奄情	投票率の向上について	選挙の投票率が低いと考える。特に若い人の投票率が低いと思うが、投票率を上げるための取り組みは。	投票率の低下は、全国的な課題となっております。特に若年層に政治や選挙に対して関心をもってもらうこと、投票率を向上させることは大きな課題です。 奄美市では、昨年度市内2つの高校にて選挙に関する講座を行っています。市民全体を対象としては、各種イベントで啓発物資の配布や投票への呼びかけを行っています。	選挙管理委員会	
15	奄情	アマミノクロウサギについて	アマミノクロウサギの交通事故死が増加しているが、対策はどうしているか。また、集落の方からクロウサギの食害について話を聞くが、対策はどうしているか。	（世界自然遺産課） 交通事故対策として、本市では道路への減速帯及び看板設置、夜間通行ルールの施行や広報誌等で発生件数や注意箇所について普及啓発を進めているところです。 また新たな取り組みとしては鹿児島県が侵入防止柵を設置、環境省が交通事故対策に特化した会議体を発足するなど本市だけでなく奄美大島全体で連携しながら取り組んでいるところです。 （農林水産課） 当該問題への対策の必要性は、担当課としても認識しているところでございます。現況、クロウサギの食害対策について取組可能な事業はございませんが、次年度以降、対策が講じられるように、県・大島支庁と協議を進めているところでございます。	世界自然遺産課 農林水産課	
16	奄情	道路整備について	道路の白線が消えかけたところを引き直してほしい。カーブミラーや交通標識をきれいにしてほしい。電線にかかるツタや枝などを撤去してほしい。	具体的な場所があれば奄美市公式LINEの友達登録をしていただき、現地の写真を送付いただけないでしょうか。もしくは、土木課までご連絡をお願いします。	土木課	
17	奄情	Vtuberについて	奄美市の観光大使としてVtuberをつくってはどうか。若い人はVtuberを好む人も多いので、奄美の良さを伝えるには良いと思う。	（デジタル戦略課） ご提案ありがとうございます。運用体制も必要な内容ですので実施については検討が必要ですが、特定の情報発信の際などに選択肢の一つに入れたいと思います。 （企画調整課） YouTubeやTikTokといった映像コンテンツが若い世代の皆さんの大きな情報源となっていることを踏まえすと、奄美市の観光大使としてバーチャルYouTuberを作るというのは新しい視点だと思います。 しかしながら、そのコンテンツで定期的に情報発信するには一定の専門性が必要となるため、技術的な課題がありそうです。 今後は奄美市のバーチャルYouTuberについて、他自治体での運用状況など継続的に研究してみたいと考えております。	デジタル戦略課 企画調整課	
18	奄情	空港バスについて	空港バスをトランクルームが利用できる車両に変更する予定がないか。トランクを持って座席に乗るのが大変である。	空港線については、生活路線客と空港利用客（観光客等）が混乗している状況となっていることから、すべてのバス車両を荷物用トランクへの積載が可能なリムジンバスに変更することは困難であると伺っています。 利用者の利便性向上となるバス車両の選定につきまして、バス事業者とも意見交換を図っていきたいと思います。	商工政策課	

No.	地区	項目	意見要約	市長回答（N08以降は所管課回答）	所管課	所管課補足
19	奄情	eスポーツについて	8月にeスポーツ大会が開催され、自分自身が運営に関わったが、その際の感想が知りたい。また、今後、奄美市や教育委員会が開催する予定など教えてほしい。	8月23日にAiAiひろばで開催されたeスポーツ大会は本市も後援し、小学生から社会人まで多くの参加者で賑わっていました。世代や地域を問わない交流だけでなく、高齢者の運動や認知症予防という観点からも広がりのある分野ですので、eスポーツによる世代間交流をはじめ、その魅力や可能性について広く周知するため、令和7年度にイベントや体験会の開催を予定しています。	デジタル戦略課	